

2013年 女性建築士の集い
避難所運営ゲーム「HUG」研修会
〈建築士として私達ができること〉

大災害が起きた時、避難所で生活しなければならない事態になる可能性は誰にでもあります。もしも避難所運営に関わらなければならなくなった時、どう対応すれば良いのでしょうか？

今回の「集い」では「避難所運営ゲームHUG」を行い避難所運営を疑似体験する事で、避難所で起り得る問題や課題について検討し、更に日常生活における備えについても考えて行きます。当日は講師として、防災教育にも携わっておられる国土交通省北海道開発局事業振興部調整官 吉井厚志氏にお越しいただき、災害時の実態などについても、ご講演頂く予定です。この機会に防災について共に考えましょう！皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2013年 9月22日(日)
 ☆第38回全道大会の翌日
 受付 9：00～
 研修 9：30～15：00

場 所：札幌エルプラザ
 4 F 大研修室
 札幌市北区北8条西3丁目

参加費：無料

定 員：60名

申込先：参加者氏名・所属支部・連絡先電話番号を添えて下記にお申込みください。
 建築士会事務局(担当:秋吉)
 TEL：011-251-6076
 FAX：011-222-0924
 E-MAIL：
 akiyoshi@h-ab.com

締 切：2013年 9月10日
 (定員に達した場合は締切ます)

※昼食は防災食をご用意いたします。

【大募集！】

**高校生に住まいを学んでもらうための
 セミナーに参加されませんか？**

道央Aブロック 新海 直美

女性委員会では、高校の家庭科教諭向けに、授業に活かせる住まいづくりセミナーを昨年まで5年間続けて参りました。その活動を基に、今年は北海道からの受託事業として、実際に高校家庭科の授業内で生徒向けの出前講座を開催できることになりました。

家庭科の授業では、主に衣食住を学びますが、住分野は専門的な部分も多く、先生方も指導に苦慮されている様子です。最近の教科書を見せて頂きましたが、先端の良い情報は掲載されているものの、専門性が高くて逆にとっつきにくく、「住まい」に興味を持ってもらうのは難しいように感じています。

まずは、楽しむことで「住まい」に関心を持たせることが必要なのではないかとの思いから、高校生がこれから社会に出て「一人暮らし」をしたら…。という身近な想定で、マンションでの一人暮らし用の間取りを作ってもらおうというセミナーを全道各地で開催する予定です。

簡単な住まい方の基本(風や光の取り入れ方、ゾーニングなど)を説明した後、5～6名の生徒と建築士1名で1グループを作り、セミナーを進めます。住む場所(駅の近く、公園のそばなど)も選択してもらい、間取りを完成させます。最後に、こだわった点や授業の感想を発表するー といった内容になる予定です。

多くの建築士が、全道各地での出前講座に参加して頂けたらと、今年度の事業では、建築士向けの実践担い手養成講習会を開催します。セミナーの進め方を学んで頂いて、是非この事業に協力して欲しいのです。今年度は女性委員会が運営担当となっていますが、男性の方もご参加頂けるととても心強いです！

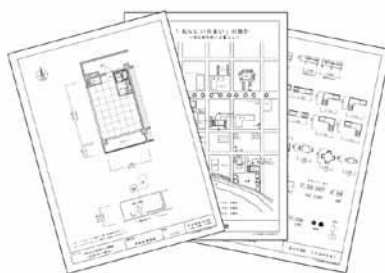
今年度は、2校の募集のところ、全道15校からの応募がありました。それだけ、先生方も悩まれていることだと思います。来年度以降はより多くの高校で開催できたらと考えておりますので、是非ご参加をお願い致します！

**建築士による
 家庭科住教育出張講座
 建築士向けセミナー**

開催日時：2013年10月5日(土)
 13：00～16：00(予定)

開催場所：北農健保会館「エルム」
 参加費：無料

詳細が決まりましたら、建築士会HP、各支部からの案内等でお知らせ致しますので、よろしくお願い致します！



セミナーではこのような間取りキットを使います